ラジオカセットレコーダー

取扱説明書/保証書

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TR-A30

9-TR1-901-02

aiwa

©2021 AIWA JAPAN INC Printed in China

製品保証書

持込修理

品名	ラジオカセットレコーダー
型名	TR-A30
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日から 1年

本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理をお申し付けください。

●本書は再発行しませんので大切に保管ください。

お客	
ご住所	〒□□□-□□□□ 電話 - -

●ご販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書はお客様へお渡しください。

販売店

商品、操作方法やトラブル、修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ
アイワお客様ご相談窓口：0570-062-312
受付時間：平日9時～ 17時(土日、祝日、長期連休を除く)
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。
アイワジャパン株式会社 ホームページ：http://a-jm.co.jp

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無償修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(持込修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。
なお、受付窓口の種類は、お買い上げの販売店または本書に記載の相談窓口となります。

種別	保証書の提示・提出
持込修理	持参した製品の修理依頼の際に提示

2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1) 本書の提示が無い場合。
(2) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。
(3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合。
(4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷。
(5) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障・損傷。
(6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。
(7) 一般家庭用以外(業務用など)に使用された場合の故障・損傷。
(8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷。
(9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。
3. 故障の状況その他事情により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・代替え部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ、適切に処理・処分させていただきます。
5. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証はいたしません。
8. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

- 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。

見本

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠危険

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない
清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠警告

内部に水や異物を落とさない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない
感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない
布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

分解・修理・改造はしない
感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げの販売店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、USB電源コードを抜く
USB電源コードを差し込んだまま移動させると、USB電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のためUSB電源コードを本機とUSB ACアダプターから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、USB電源コードを抜く
USB電源コードを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない
大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンで聞くときにご注意ください。

幼児の手の届かない場所に置く
テープホルダーなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

電池(別売り)についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池(別売り)をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
アルカリ

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋とーを正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは
アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

使用上のご注意

録音について
- 録り直しの効かない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について
- お客様が録音したものに著作物となるものが含まれている場合、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音量について
- 音源の録音レベルの違いによりラジオ再生時の音量と異なる場合があります。

長時間テープをお使いのときは
- 90分を越えるテープは薄く伸びやすいテープです。停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

劣化していないテープ、汚れのないテープをお使いください
- テープの汚れがひどくなるとヘッドに付着し、音が小さい・音が途切れる・音が出ないなどの症状が出て、きれいな音で再生や録音ができなくなり、故障の原因となります。

エンドレスカセットテープについて
- エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。テープが巻き込まれる可能性があります。

故障かなと思ったら

電源が入らない
➡ USB電源コードが外部電源端子とACアダプターにしっかりと差し込まれていますか。
➡ 乾電池で使う場合、乾電池が正しく入っていますか。または乾電池が消耗していませんか。
➡ 乾電池で使う場合、USB電源コードを外部電源端子から抜いていますか。

音が出ない
➡ 正しい音源を選択しているか、確認してください。
➡ イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていないか、確認してください。
➡ 音量が最小になっていないか、確認してください。

雑音が入る
➡ 近くで携帯電話など電波を発するものを使用しないでください。
➡ 接続するUSB電源によっては、AM放送にノイズが発生することがあります。

テープで再生/録音ができない
➡ ヘッドが汚れていませんか。クリーニング液(市販品)やクリーニングカセット(市販品)等で清掃してください。
➡ 古いテープを使用していませんか。テープの伸びや磁気記録の劣化などによって正常に再生されない場合があります。テープを交換してください。

テープが入らない
テープホルダーが閉まらない
➡ テープの向きが上下逆になっていませんか。テープの見えている方を上にして入れてください。
➡ テープが正しく入っていますか。正しく挿入してください。

テープが走行しない
➡ 不良品のテープを使用していませんか。テープを交換してください。
➡ テープが全部巻き取られていませんか。テープの裏表を入れ替えてください。

録音ボタンが押せない
➡ ツメの折れたテープを装着していませんか。テープを取り替えてください。
また、録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさいでください。

録音ボタンがロックできない
➡ 不良品のテープを使用していませんか。テープを交換してください。

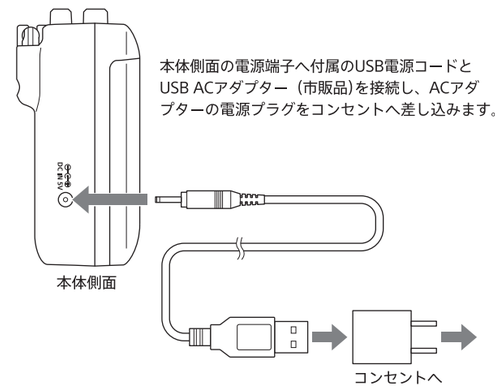
音が途切れる
音程が狂う
消去が不完全
➡ ヘッドが汚れていませんか。クリーニング液(市販品)やクリーニングカセット(市販品)等で清掃してください。
➡ ハイポジションやメタルテープを使用していませんか。ノーマルテープを使用してください。
➡ 乾電池が消耗していませんか。乾電池を交換してください。

録音ができない
➡ テープのツメが折れていないか、確認してください。ツメの折れているテープには録音できません。

それでも解決しない時は…
➡ アイワの相談窓口にご相談ください。

電源を準備する

コンセントに市販のUSB ACアダプターを接続する



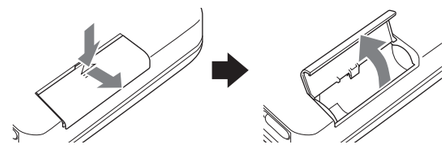
本体側面の電源端子へ付属のUSB電源コードとUSB ACアダプター(市販品)を接続し、ACアダプターの電源プラグをコンセントへ差し込みます。

ACアダプターは市販のUSB ACアダプター(USB A)をお使いください。
出力電圧：5 V、出力電流：500 mA以上

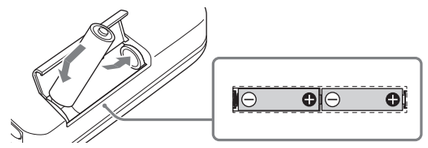
乾電池(別売り)を使う場合

- 本機を乾電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- 乾電池でご使用になる場合はUSB電源コードを取り外してください。
- 長時間ご使用になるときや大切な録音をするときは、付属のUSB電源コードをご使用ください。
- 乾電池が消耗してくると、正常に動作しない、音が小さいなどの症状が発生しますので、このようなときは新しい乾電池と交換してください。

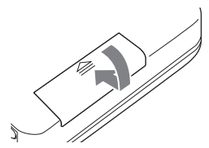
1. 本体背面の電池ふたのツメ(「OPEN」の表示がある箇所)を押しながら開ける。



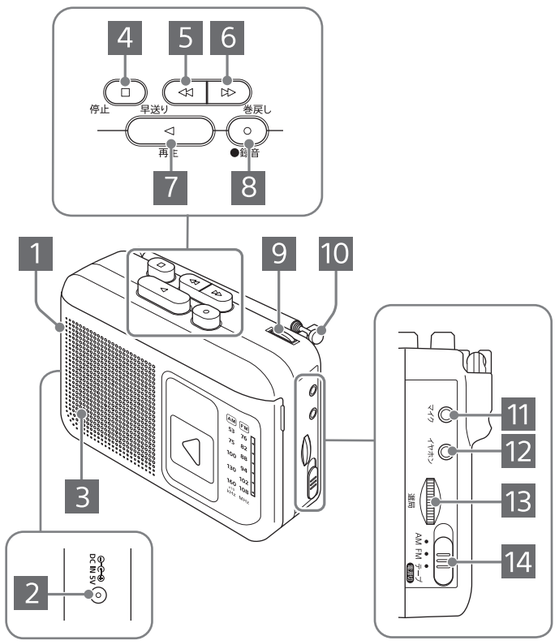
2. 単3形乾電池2本(別売り)を入れる。
必ず＋とーを正しく入れてください。



3. 電池ふたをしっかりはめ込む。



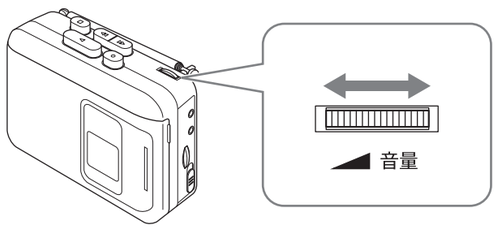
各部名称



1 テープホルダー
2 外部電源端子
3 スピーカー
4 ■(停止)ボタン
5 ◀◀(早送り)ボタン
6 ▶▶(巻戻し)ボタン
7 ◀(再生)ボタン
8 ●(録音)ボタン
9 音量調節ダイヤル
10 FMアンテナ
11 マイク入力端子
12 イヤホン端子
13 選局ダイヤル
14 電源/音源切替スイッチ

音量を調節する

音量調節ダイヤルを回すと、音量を調節できます。

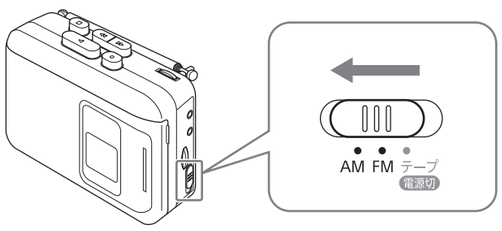


注意

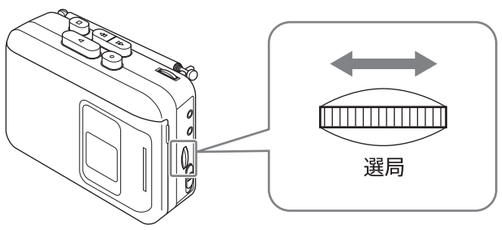
- ダイヤルを回し過ぎると大音量が出る場合がありますのでご注意ください。

ラジオを聞く

1. 電源/音源切替スイッチを「FM」または「AM」に切り替える。



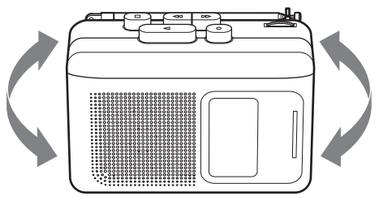
2. 選局ダイヤルを回して放送局を選択する。



受信状態を良くするには

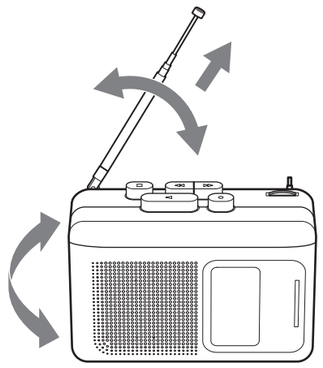
AM放送の場合

AMアンテナは本体に内蔵されています。本機を動かして、受信状態が最も良い向きを探してください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。
※ FMアンテナを伸ばしてもAM放送の受信感度は向上しません。
※ FMアンテナを伸ばすとノイズが入ることがあります。



FM放送の場合

FMアンテナを伸ばして、長さや方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

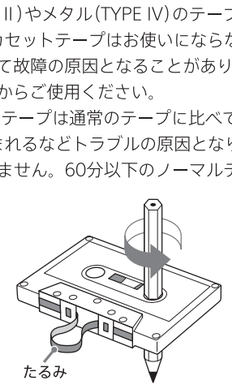


テープを聞く

操作をする前に以下をご確認ください

本機ではノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をお使いください。
ハイポジション(TYPE Ⅱ)やメタル(TYPE Ⅳ)のテープには対応しておりません。また、エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。

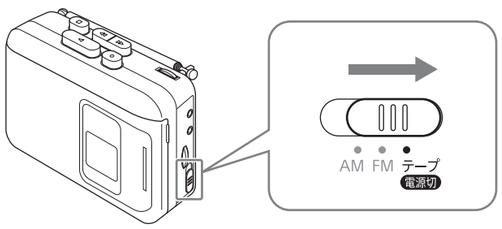
- テープが巻き込まれて故障の原因となることがありますので、鉛筆などでたるみを巻き取ってからご使用ください。
- 90分を超える長時間テープは通常のテープに比べて非常に薄く伸びやすいため、機械に巻き込まれるなどトラブルの原因となりますので、本機でのご使用はおすすめできません。60分以下のノーマルテープをご使用ください。



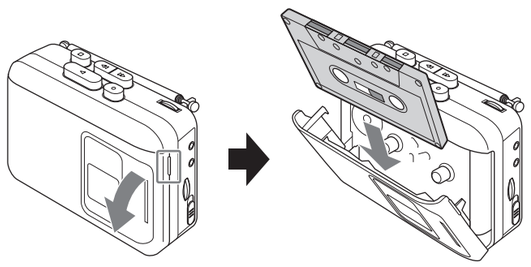
劣化していないテープ、汚れのないテープをお使いください

- カセットテープケースの変形や歪み、長期間のご使用でテープが劣化しテープに波打ち・伸びがある場合は、ピンチローラーにテープが絡むことがあり、テープ切れなどの原因となります。
- テープの汚れがひどくなるとヘッドに付着し、音が小さい・音が途切れる・音が出ないなどの症状が出て、きれいな音で再生や録音ができなくなり、故障の原因となります。

1. 電源/音源切替スイッチを「テープ」に切り替える。

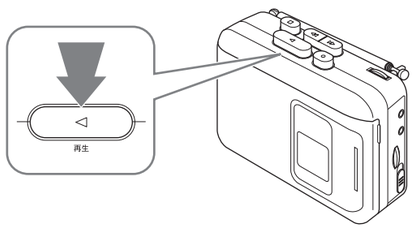


2. テープホルダーを開け、テープを入れる。



3. テープホルダーを押して閉める。

4. ◀(再生)ボタンを押す。
再生が始まります。



停止するには■(停止)ボタンを押します。
また、テープが終わると自動で再生を停止します。

早送り/巻戻しをするには

◀◀(早送り) / ▶▶(巻戻し)ボタンを押して、お好みのときに■(停止)ボタンを押します。

- 再生しながらの早送り、巻き戻しはできません。
- テープの最後まで早送り/巻き戻しをする場合は、完了後に■(停止)ボタンを押してください。自動的に停止しませんので、そのまま放置すると故障や事故の原因となります。

注意

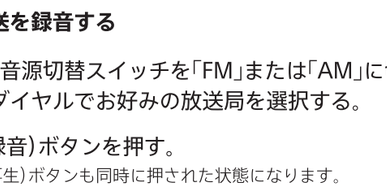
再生時のノイズについて

- テープの再生では、機械式であるカセットデッキの構造そのものに起因する動作音や、テープ走行時のヘッドとテープの接触によって発生する「ヒスノイズ」、周辺の機器などからの電磁波をヘッドが拾うことによって引き起こされる誘導ノイズなど、さまざまな原因によるノイズが発生することがあります。これはテープ特有のものであり、故障ではありません。

テープに録音する

録音時の頭切れを防ぐために

- テープの両端には「リーダーテープ」と呼ばれる録音できない部分があります(磁体性が塗られていない透明または乳白色の部分です)。録音時の頭切れを防ぐため、「リーダーテープ」部分を鉛筆などで送ってからテープを入れてください。

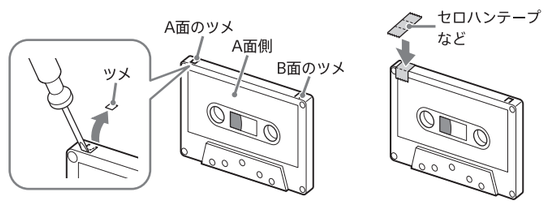


大切な録音をするときは

- 乾電池使用の状態で録音すると電池残量が足りずに録音できないことがありますので、付属のUSB電源コードをご使用ください。

テープに録音した内容を消去しないために

- ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消去してしまうミスを防げます。
- ツメを折ったカセットテープにもう一度録音する場合は、ツメを折った穴をセロハンテープなどでふさぐことで録音できます。



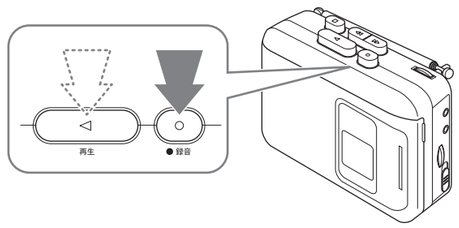
注意

- 折ったツメが誤って製品内部に入ると故障の原因となりますので、必ず廃棄してください。

ラジオ放送を録音する

1. 電源/音源切替スイッチを「FM」または「AM」に切り替え、選局ダイヤルでお好みの放送局を選択する。

2. ●(録音)ボタンを押す。
◀(再生)ボタンも同時に押された状態になります。

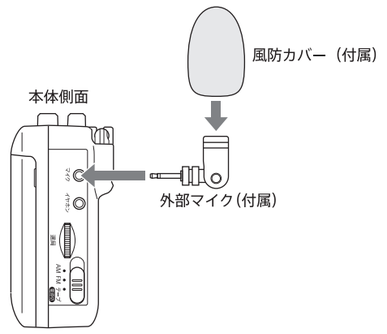


録音を停止するには■(停止)ボタンを押します。

付属のマイクで録音する

付属の外部マイクを本機に接続することで、マイクの音声を録音することができます。

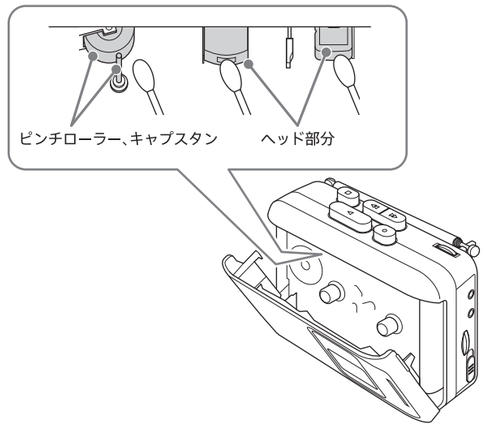
1. 付属の外部マイクに風防カバーを取り付け、本機のマイク入力端子に接続する。



2. 電源/音源切替スイッチを「テープ」に切り替え、●(録音)ボタンを押す。

録音/再生および消去ヘッドなどのクリーニング

テープと接触する面の汚れは、雑音・音が小さい・音が途切れる・音揺れや、テープの巻き込みなどの故障の原因となりますので、定期的(ご使用時間で約20時間を目安)にクリーニングをしてください。
お手入れは綿棒(市販品)にクリーニング液(市販品)を含ませて、汚れを拭いてください。



注意

- クリーニング液が完全に乾いてからテープを入れてください。

主な仕様

ラジオ部

受信周波数	FM: 76 ～ 108 MHz AM: 530 ～ 1605 kHz

カセットテープレコーダー部

トラック方式	2トラック、1チャンネル
早送り/巻き戻し時間	約3分(C60片面)
推奨テープ	ノーマルテープ 60分以下

共通部

電源	単3形乾電池2個使用(DC 3 V)(乾電池は別売りです) 外部電源 USB DC5V（ACアダプター、別売)
スピーカー	5 cm（8Ω）
実用最大出力	450 mW
入力端子	マイク入力端子(Φ3.5モノラルミニ) 外部電源端子
出力端子	イヤホン端子 (Φ3.5モノラルミニ)
電池持続時間	スピーカー使用時 ラジオ 約65時間、テープ再生時 約15時間 イヤホン使用時 ラジオ 約72時間、テープ再生時 約27時間 (アルカリ乾電池使用時)
消費電力*	1 W
最大外形寸法	120 mm（幅)×87 mm（高さ)×38 mm（奥行) (突起物は含まない)
質量	約200 g（乾電池含まず)

*(社)電子情報技術産業協会「JEITA規格」による測定値

同梱品

本体(1)
イヤホン(1)
外部マイク(1)
風防カバー（1)
USB電源コード(1)
取扱説明書/保証書(本書)